

**【事例】**

氏 名 / 岸辺 四郎様（82 歳）、介護度：4、身長：187cm、体重：50kg

既 往 / アルツハイマー型認知症、脳内出血、左大腿骨骨折、仙骨部に褥瘡あり（ステージⅢ）、便秘症

身体状況 / 左半身麻痺、左足首の拘縮、左膝・股関節の拘縮、左手指の拘縮、視力低下

移 動 / 歩行不可、車椅子対応

座 位 / 左傾きあり、ズレ多い、長時間の座位保持は困難

食 事 / 粥、刻み食、水分とろみ、全介助、嚥下はスムーズ

口腔状態 / 上下ともに部分義歯

家族構成 / 妻とは離婚、子供は長女のみ（結婚後、別居）

経済状態 / 金銭的には裕福、長女が金銭面を管理

【直近の状況】

- ・10 年前に脳内出血を発症し、左半身に麻痺の後遺症が残る。
- ・週 3 回のデイサービスと 1 日 3 回のヘルパーを利用し、独居で在宅生活を送っていた。
- ・半年前の転倒で左大腿骨を骨折し、入院。
- ・入院中はベッド上で過ごすことが多く、筋力低下・認知症が進行。
- ・在宅生活が難しくなり、特養に入所となる。

あなたが生活相談員として働く特別養護老人ホームに、岸辺様が入所しました。

※提案時間／各 4 分

■問題 1／適切な車イスの使用についての解説・提案

入所後、岸辺様が使用している車イス（普通タイプ）のサイズが、本人の体格に合っていないことがわかりました。

サイズの合わない車イスを使用すると、どのような弊害が発生するかを説明してください。

また、**配布したパンフレットの中から**、岸辺様に適した車イスを提案してください。

※問題では試験官を**入居者家族**として講義してください。

■問題 2／福祉用具の提案

車イスの提案に合わせて、その他の福祉用具についても岸辺様に提案しようと思います。

事例・直近の状況を読み、岸辺様に必要な福祉用具を**パンフレットから選び**、提案してください。

家族は必要なら何でも購入したいと話しています。必要な福祉用具を最大限提案してください。

※特養では個人に合わせた特別な福祉用具は用意できないものとします。

【注意点】

・今回の試験は Zoom を使用し、オンラインで実施します。Zoom 越しに家族がいると想定し提案してください。

・試験官も同じパンフレットを持っています。ページ数や記載箇所などをわかりやすく伝えてください。

・試験の進行は試験官の指示に従ってください。時間配分は試験官が管理します。

・試験内容が判定でき次第、時間を短縮して試験を終了する場合があります。